関東支部第19期総会、講演会および関東学生会第52回学生員卒業研究発表講演会のお知らせ

支部運営会・実行委員会

日本機械学会関東支部および関東学生会では、上記の総会および講演会を首都大学東京の南大沢キャンパスで開催します。総会・講演会は日本機械学会の会員および学生員の方に限らず、これから会員になろうとする方も参加可能ですので、是非ご参加ください（当日入会も可能です）。

講演会では、「特別講演」、「オーガナイズドセッション」、「一般講演」を行うほか、機器展示やカタログ展示なども計画しています。皆様のご参加をお待ちしています。

なお、学生員卒業研究発表講演会では、優れた口頭発表を行った学生員に対してBPA(Best Presentation Award)が贈られます。また講演会では、学生員などを対象として、優れた講演に対して日本機械学会からフェロー賞が、関東支部から若手優秀講演賞が贈られます。奮ってご参加ください。

■ 期　　日　　2013年3月15日(金)～16日(土)
■ 会　　場　　首都大学東京　南大沢キャンパス（東京都八王子市南大沢1-1）
■ 企　　画　　支部総会、講演会、関東学生会総会、卒業研究発表講演会
3月15日　特別講演「惑星探査機はやぶさが小惑星イトカワから回収した粒子と福島原発事故で首都圏に到達した放射性物質の分析」
海老原　充（首都大学東京大学院理工学研究科　教授）
（講演会の詳細は以下参照　http://www.jsme.or.jp/conference/ktconf13/）
■問合せ先　　日本機械学会　関東支部事務局（12ページ参照）

開催会場（首都大学東京）の紹介

実行委員長　首藤　登志夫（首都大学東京 教授）

首都大学東京は、2005年に東京都立大学、東京都立科学技術大学、東京都立保健科学大学が統合してできた大学です。八王子市、日野市、荒川区などにキャンパスを持ちますが、今回の総会・講演会の会場となる八王子市の南大沢キャンパスは旧東京都立大学の所在地で、現在はそのまま首都大学東京のメインキャンパスとなっています。このキャンパスは、東京都立大学が1991年に目黒区からこの地に移転した際に開かれたもので、その広さは43haと東京ドーム9個分に相当します。さらに9haの広さの公園が隣接しており、緑豊かなすばらしい環境を誇ります。

首都大学東京は東京都立大学の伝統を引き継ぐ総合大学として多様な学問分野を擁しており、現在は4学部6研究科を有しています。中でも理工系分野はとくに充実しており、数理情報科学、物理学、分子物質化学、生命科学、地理環境科学といった理学系の専攻に加えて、機械工学、航空宇宙システム工学、ヒューマンメカトロニクスシステム学、経営システムデザイン学、電気電子工学、情報通信システム学、分子応用化学、建築学、都市基盤環境学、都市システム科学、インダストリアルアート学といった工学関連の専攻があります。

最近では、惑星探査機はやぶさが小惑星イトカワから回収した粒子の分析や、トムソン・ロイター社により2012年ノーベル化学賞受賞が予想された金の触媒作用の研究など最先端の研究が行われています。惑星探査機はやぶさが回収した粒子の分析については特別講演でご紹介を予定しています。

今回の講演会の実行委員会の中心となる首都大学東京大学院理工学研究科機械工学専攻は、東京都立大学大学院工学研究科機械工学専攻を基としており、東京都立大学の前身校の時代を含めると約80年の歴史を有します。現在は15研究室の体制で機械工学の幅広い研究分野を網羅しています。

南大沢キャンパスの最寄駅は京王相模原線の南大沢で、駅に隣接するアウトレットモールを通り抜けたところにあります。首都大学東京の門を入って右手にある1号館が総会・講演会の会場です。1号館は、光の塔と呼ばれるガラス張りの屋根を載せた塔のある建物で、駅から徒歩5分程度の距離です。南大沢駅周辺にはモールの他にもこぎれいな商業施設があり、食事の選択肢も豊富です。

首都大学東京南大沢キャンパスで開催する関東支部総会・講演会に是非ご参加ください。

南大沢駅付近から見た首都大学東京